

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR F 作業班（第 10 回）議事要旨（案）

- 1 開催日時：平成 26 年 8 月 28 日（木） 14 時 00 分～16 時 00 分
- 2 開催場所：総務省 8 階 第 4 特別会議室
- 3 出席者（順不同）

【構成員】山下主任（JET）、平伴主任代理（パナソニック）、前川構成員（ダイキン）、篠塚構成員（NICT）、井上構成員（KEC）、三塚構成員（TELEC）、菅野構成員（NTT）、業天構成員（パナソニック）、徳田構成員（東京大学）、大嶋構成員（NHK）、梶原構成員（JQA）、服部氏（オブザーバ）（NTT-AT）、

【事務局】総務省：澤邊専門官、川口監視官、野村係長、寺田官

4 議事概要

- (1) 前回の議事要旨について、修正意見があれば、1 週間以内に事務局まで連絡することで承認された。＜資料 10-1＞
- (2) CISPR フランクフルト会議対処方針（SC/F）（案）について、山下主任から報告が行われた。＜資料 10-2-1＞
また、CISPR フランクフルト会議対処方針（WG1）（案）について、前川構成員から報告が行われた。＜資料 10-2-2＞
続いて、CISPR フランクフルト会議対処方針（WG2）（案）について、平伴主任代理から報告が行われた。＜資料 10-2-3＞

以上の報告を受けて、質疑応答が行われた。質疑応答におけるポイントは以下のとおり。

- ・ WG2 において議論がされている CISPR15 第 8 版においては、非常に重要な規格である CISPR30 シリーズについて言及されていないため、CISPR15 と CISPR30 の関連がわかりにくくなっている。現在、検討されている CISPR15 第 9 版においては、CISPR30 との関連が明確化されているため、第 8 版の修正 2 にも前倒しで入れ込む予定。
⇒まだ、第 9 版が確定していない状況にもかかわらず、第 8 版の修正 2 に入れ込むことが可能であるのかという質問が出たが、並行して入れ込むことは可能とのことであった。
- ・ 9kHz-30MHz の放射妨害波測定において、4m のラージループアンテナは現実的ではないため、我が国から 3m 又は 10m の距離からの微小ループ・アンテナ法の併記の追加を提案する。

- (3) 電波利用環境委員会報告書（案）について、山下主任から説明が行われ、特段の異議なく承認された。＜資料 10-3-1、資料 10-3-2＞

⇒F 小委員会に設置されている TF-IPT での議論を見据え、ワイヤレス電力伝送（WPT）についても対処方針を追加したものを、再度作業班メンバに対してメール審議を行うこととなった。

- (4) CISPR フランクフルト会議 SC/F 関連会議参加者（案）について、山下主任から説明があり、特段の異議なく承認された。＜資料 10-4＞

⇒ 会議後、新規に雨宮氏（NTT-AT）を F/WG1 の参加者に追加すること、多氣主査（首都大学東京）を F/WG1 に加えて F/WG2 の参加者にも追加することについて、作業班にメール審議を実施し了解が得られた。

- (5) 本作業班の議論を踏まえた資料の修正期限は、本日から 1 週間までを目途に事務局宛てに送付することとなり、本日の審議結果をもとに、9 月 10 日の電波利用環境委員会において山下主任が CISPR フランクフルト会議の SC/F の対処方針を報告することとなった。

また、次回の作業班の開催については、開催が決まり次第、構成員宛てに連絡することとなった。